

発刊にあたり



根室市の漁業は、北方海域の豊かな水産資源を背景に、北洋漁業の開拓とともに発展を続けてまいりましたが、相次ぐ国際的な漁業規制や輸入水産物の増大による魚価の低迷、さらには、燃油価格の高騰など漁業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

近年では、ロシアの資源管理強化が進む中、「ロシア二百海里内サケマス流し網漁業」や「貝殻島昆布採取漁業」における民間交渉の難航など、対口漁業の先行きは不透明な状況が続いており、全体漁獲量の約5割をロシア水域に依存している本市にとって、日本とロシアとの長期かつ安定的な漁業関係の構築が重要な課題となっております。

このことから、市といたしましては、対口漁業における国の積極的な支援と関与を引き続き求めている一方、多くの漁業者が営んでいる沿岸漁業においては、ウニ等の種苗放流のほか、コンブ資源の増大に向けた雑海藻駆除などの漁場造成の実施、さらにはハナサキガニの種苗生産技術の確立に向けた研究を進めるなど、将来における沿岸漁業の安定的生産を確保するため、各種の資源管理施策を展開しております。

また、根室産水産物や水産加工食品等の消費拡大を図るため、独自の指針である品質及び衛生管理マニュアルに沿って着実に成果を上げている地域HACCPの取組みを掲げて、安全・安心かつ良質であることを全国にアピールし、最終目的である根室ブランドの確立に努めております。

今ここに、先人が築きあげた「水産都市・根室」の歴史に思いをめぐらせながら、激動の海に生き、漁業振興に奮闘された多くの漁業者の知恵と汗が、現在までのふるさと発展の中心となりえた事に感謝するとともに、この機会を次世代への足掛かりとして、より一層の水産振興に取り組んでまいりますので、今後とも本市の水産行政に対しご理解いただき、関係各位のお力添えをいただければ幸いに存じます。